

2018年9月18日

## AGC、タイでクロール・アルカリ事業の能力増強を検討開始

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業拡大の一環として、タイの当社グループ会社ビニタイ社の生産能力増強の検討を開始し、現地環境当局に環境影響評価の申請手続きを開始しました。本申請において環境影響評価の前提となる増強後の年間生産能力は、苛性ソーダ59万トン（現在37万トン）、塩化ビニルモノマー（VCM）83万トン（現在40万トン）、塩化ビニル樹脂（PVC）86万トン（現在30万トン）としております。今後能力増強の検討を継続し、環境影響評価の審査結果を踏まえて、最終的な判断を行う予定です。

当社の東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業は、インドネシア、タイ、ベトナムで展開しています。タイでは、2017年にビニタイ社を買収し事業基盤を大きく拡大しました。また近隣にある当社グループ会社AGCケミカルズ・タイランド社とのシナジー効果を高めるべく、電解から発生する塩素の配管を両社間に敷設し原料面での融通を計画するなど、一体運営に向けた各種取り組みが進行中です。

AGCグループは経営方針 **AGC plus** の下、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業の拡大に注力しています。今後も更なる能力増強や競争力向上策を積極的に検討し、同地域の経済発展に貢献していきます。

以上

---

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 玉城 和美

（担当：北野 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

\*当社は2018年7月1日より旭硝子株式会社からAGC株式会社へ社名を変更しました。

\*個人情報は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。